

第39回
福島県児童・生徒木工工作コンクール
表彰式

◇とき 平成26年11月2日(日) 午前11時

◇ところ いわき市平体育館
「ふくしまみんなの住宅フェア2014」会場

福島県木材青壮年協会

式次第

表彰式

1. 開 会
2. 挨拶
3. 来賓紹介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

記念撮影

出席者名簿 (敬称略)

ご 来 賓

福島県農林水産部林業振興課長	松 房 政 彦 (まつふさ まさひこ)
関東森林管理局磐城森林管理署長	中 澤 文 彦 (なかざわ ふみひこ)
いわき市役所農林水産部林務課 主任主査兼林業振興係長	荒 木 学 (あらき まなぶ)
福島県木材協同組合連合会専務理事	宗 形 芳 明 (むなかた よしあき)
福島テレビいわき支社長	鈴 木 稔 (すずき みのる)

主 催 者

福島県木材青壮年協会長	飯 部 慎 一 (いいべ しんいち)
-------------	--------------------

受 賞 者

福島県知事賞	第 1 部	高 野 晃太郎 (たかの こうたろう)
〃	第 2 部	桑 折 隼 斗 (こおり はやと)
福島県教育委員会教育長賞	第 1 部	折 内 康太郎 (おりうち こうたろう)
〃	第 2 部	布 田 杏 菜 (ふだ あんな)
関東森林管理局長賞		八 木 結 南 (やぎ ゆうな)
いわき市長賞		高 野 瞳 子 (たかの とうこ)
福島民報社長賞		鈴 木 達 也 (すずき たつや)
財団法人福島県林業会館理事長賞		後 藤 類 (ごとう るい)
福島県木材協同組合連合会長賞		佐 藤 琉 凱 (さとう りゅうが)
NHK 福島放送局長賞		勝 沼 遙 来 (かつぬま はるな)
ラジオ福島社長賞		沼 田 駿 (ぬまた しゅん)
福島テレビ社長賞		飯 塚 雄 哉 (いづか ゆうや)
福島県木材青壮年協会	第 1 部	桑 折 和 真 (こおり かずま)
福島県木材青壮年協会	第 2 部	松 本 大 門 (まつもと ひろと)

開催の趣旨

目 的

再生可能な循環型資源として広く知られている木材は、地球温暖化防止に極めて有効な二酸化炭素の固定の手段としても注目を浴びています。このように優れた特性を持つ木材を実際に自分で切ったり、削ったり、組み合わせながら、香り・色・肌触り等の木の持つ良さを実感することで、未来を担う子どもたちの感受性を豊かにするお手伝いをしながら木材の利用推進を図ります。

主 催 等

- ◇ 主 催 ◇ 福島県木材青壮年協会・福島民報社・福島県木材協同組合連合会
- ◇ 後 援 ◇ 福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・(財)福島県林業会館
NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ

応募資格

- (1) 福島県内の小中学校の児童・生徒であること。
- (2) 木材及び林産物を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが75 cmを越えないもの。

審査基準

- | | 配点（100点） |
|----------------------------|----------|
| (1) 子どもの頭で考え、子どもの手で作ったもの。 | 30点 |
| (2) 木の持ち味を活かし、独創性に優れていること。 | 30点 |
| (3) 機能、デザインが優秀であること。 | 20点 |
| (4) 工作技術が優秀であること。 | 20点 |

経過説明

審査内容

1. 出展作品数 総数454点(24校)
うち、各校より推薦のあった66点について審査した。
2. 審査会 平成26年10月3日いわき市ラトブにおいて次の審査委員により「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

◇審査委員長◇	(敬称略)
福島大学人間発達文化学類教授	片野 一
◇審査委員◇	
関東森林管理局磐城森林管理署長	中澤 文彦
福島県林業振興課主任主査	木村憲一郎
福島県教育長学習指導課指導主事	大石 正文
いわき市役所林務課主任主査兼林業振興係長	荒木 学
福島民報社いわき支社長	安田 信二
福島県木材協同組合連合会専務理事	宗形 芳明
福島県木材青壮年協会長	飯部 慎一



その他

3. 全国コンクールへの参加
上位入賞作品については、平成27年3月開催の全国コンクールに出展し、さらに入賞した作品については、5月23日愛媛県で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会会場において表彰される。
4. 作品の展示及び展示期間
(1)平成26年10月4日(土)～10月5日(日)
於：ラトブ 6階 セミナー室
(2)平成26年11月1日(土)～11月2日(日)
於：いわき市平体育館「ふくしまみんなの住宅フェア」会場

講 評

第39回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査委員長

福島大学人間発達文化学類教授

片 野 一

去る10月3日、いわき市駅前にある多目的施設「ラトブ」において午後3時より審査を実施しました。審査委員は8名で木材行政や教育関係者、マスコミの代表の方々などで構成され、慣例により福島大学の片野が委員長を務めました。審査では各審査委員が賞にふさわしい優れた作品に印をつけるための紙をおいていき、評価の高い作品を徐々に絞った後一か所に集めました。その後は自由に一つ一つの作品について発言をしてもらい、必要に応じて挙手による判断も採用し、その結果が下記のような内容でした。実際には甲乙つけがたいものばかりで、賞から漏れた作品にも素晴らしい力作が多々ありました。賞に漏れた皆さんは、またの機会に奮闘して下さい。以下講評を記します。

1部 [最優秀賞] 福島県知事賞「ぼくの夢の家」 高野晃太郎君の作ったこの作品は、ジャングルの中につくられた仲間の家のように、とても夢の広がる作品です。作品の全体的バランスもとれていますし、変化もあります。部屋の中の細部の作りも丁寧ですし、材料の使い方も、輪切りのもや小枝の状態を使うなど、いろいろ工夫をして見る人を楽しませてくれる作品です。

2部 [最優秀賞] 福島県知事賞「立ち向かう心」 桑折勇斗君のこの作品は、子どもらしい想像力に満ちた面白い作品です。やや太い枯れ枝を馬の姿に見立て、尻尾を舞い上げながら走る馬の動きを表現した作りになっています。たてがみやしっぽ、鞍の様子も他の材料をうまく組み合わせ作ってあります。武将のかぶる兜も木のつるで丁寧にうまく作っています。

以下 [優秀賞]

1部 福島県教育委員会教育長賞「仲よしカメオヤコ」 折内康太郎君のこの作品は、大小の亀の家族が並んでいるユーモラスで楽しい作品となっています。亀の甲羅を一匹ずつ木の塊から丸く削り出して、その表面に甲羅模様を彫り出した手間のかかる仕事を完成させています。カメの口が少しあいているのも話をしているようでかわいらしいですね。

2部 福島県教育委員会教育長賞「アースランプシェード」 布田杏菜さんのこの作品は、数種類のつるを使って丸い形をうまく作っています。とても大きな作品で、全体のバランスをとったり、中に入れる電燈を固定させるなど試行錯誤があったと思います。木のつるばかりでなく、木の実の殻も全体に散りばめてあり、それが作品に変化を与えています。

関東森林管理局長賞「むしがいっぱい！」 八木結南さんのこの作品は、カブトムシをやや大きな材料から削り出して、塗装をして立派に作りあげ作品の真ん中に据えています。この作品にはよく見るとトンボや他の虫が木の棒や葉っぱを利用して楽しく組み合わせられています。松ぼっくりと木の実も作品をにぎやかにしています。

いわき市長賞「森のリズム」 高野瞳子さんのこの作品は、木の枝を薄く輪切りにして地面に敷き詰め、長めの枝は縦方向に数本配置し、自然の雰囲気をつくり森のなかにある小屋の空間をおもしろく作っています。枝の配置や梯子の作りも丁寧に観る人を「小さな世界」に誘ってくれる作品です。

福島民報社長賞「白くて強いノコギリクワガタ」 鈴木達也君のこの作品は、ノコギリクワガタの形をよく観察し、その特徴を白っぽい木材でうまく作っています。足の部分、ハサミの部分、胴体のふくらみなどとても丁寧に仕上げられています。白い大きなクワガタが動き出しそうです。

福島県林業会館理事長賞「かぶとむしのおやこ」 後藤類君のこの作品は、数種類の木片を上手に組み合わせて胴体をつくり、つや足の部分は別の丸棒で完成させています。子どものかぶとが親の背中に乗っている様子もかわいらしいですし、子どものかぶとの羽が少し開いて今にも飛び出しそうな様子もうまく表現できています。

福島県木材協同組合連合会長賞「海魚と川魚の遭遇」 佐藤琉凱君のこの作品は、川の魚と海の魚が同じ場所で泳いでいるというユニークな発想をもとにして作られています。二匹の魚はそれぞれ丁寧に形作られ、鱗も一つ一つ彫刻刀で彫られています。ヒラメが砂の中に半分もぐっている姿は、佐藤君の工夫のたまものです。

NHK福島放送局長賞「楽しい家族」 勝沼遥来さんのこの作品は、細木の材料を一本一本切って、大工さんが家を建てると同じように家族が集う楽しそうな家をつくっています。庭にあるブランコやすべり台、シーソーも皆が遊べるように丁寧に作っており、とても夢を感じさせる努力の結晶のような作品です。

ラジオ福島社長賞「りっぱなお城」 沼田駿君のこの作品は、障壁に囲まれたしっかりしたお城です。松の実からとった一枚一枚の鱗片を丁寧に並べて緻密な屋根の作りを実現しています。どんぐりの実や小枝もうまく利用して素朴で立派なお城になっています。全体の色調も落ち着いていて戦国時代の城のようです。

福島テレビ社長賞「夢の走り幅跳び」 飯塚雄哉君のこの作品は、走り幅跳びをした時の跳躍の様子を、ストップモーションのコマ送りのような形に彫り出したアイデアあふれる作品です。三枚の板を貼り合わせてあり、細い部分が弱くならないような工夫もされています。自分の跳んでいる様子をイメージし、丁寧に彫ってあります。

福島県木材青壮年協会賞・1部「もえるライオン」 桑折和真君の作品は、二年生らしい想像力を感じさせる作品です。ライオンの顔にはわらがくっつけてあり、ふさふさした毛並みを感じさせてくれます。鼻には松の実、目には別の木の実をおいてかわいいたてがみを持ったライオンに仕上がりました。

福島県木材青壮年協会賞・2部「雲の上の竜」 松本大門君のこの作品は、動きのある松の枝を天に上る竜に見立てて作っています。鱗を集めて雲の形を作り出し、その中から抜け出てくるイメージをうまく形にしています。部分的に手を加え、竜の姿らしくしたところも工夫されています。動きもうまく表現できています。

入賞者名簿

(敬称略)

最優秀賞

福島県知事賞 1部

ぼくの夢の家

福島県知事賞 2部

立ち向かう心

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞1部

仲よしカメオヤコ

福島県教育委員会教育長賞2部

アースランプシェード

関東森林管理局長賞

むしがいっぱい!

いわき市長賞

森のリズム

福島民報社長賞

白くて強いノコギリクワガタ

(財)福島県林業会館理事長賞

かぶとむしのおやこ

福島県木材協同組合連合会長賞

海魚と川魚の遭遇

NHK福島放送局長賞

楽しい家族

ラジオ福島社長賞

りっぱなお城

福島テレビ社長賞

夢の走り幅跳び

福島県木材青壮年協会長賞1部

もえるライオン

福島県木材青壮年協会長賞2部

雲の上の竜

入選

福島県木材青壮年協会長賞

家族のえと

小枝の家

木棒

フランキーロボ

水車小屋

がんばれ! ロッククライミング

未来へのおくりもの

古代の城

嵐と戦う流木船

いわき市立勿来第一小学校	3年	高野 晃太郎
福島市立野田小学校	6年	桑折 隼斗
いわき市立郷ヶ丘小学校	3年	折内 康太郎
いわき市立平第五小学校	5年	布田 杏菜
いわき市立勿来第一小学校	3年	八木 結南
いわき市立勿来第一小学校	5年	高野 瞳子
いわき市立平第六小学校	3年	鈴木 達也
いわき市立小名浜西小学校	1年	後藤 類
いわき市立小名浜第三小学校	6年	佐藤 琉凱
いわき市立磐崎小学校	3年	勝沼 遙来
いわき市立平第一小学校	5年	沼田 駿
いわき市立小名浜西小学校	6年	飯塚 雄哉
福島市立野田小学校	2年	桑折 和真
いわき市立長倉小学校	6年	松本 大門
福島市立野田小学校	3年	佐藤 功大
福島市立野田小学校	5年	松浦 未央
福島市立野田小学校	5年	菊田 寧音
いわき市立大野第一小学校	5年	岡村 凌太
いわき市立平第四小学校	4年	坂本 賢汰
いわき市立郷ヶ丘小学校	3年	石井 なの葉
いわき市立中央台東小学校	4年	和田 ほのか
いわき市立入遠野小学校	6年	鈴木 広琉
いわき市立中央台東小学校	4年	鈴江 崇作

☆☆☆第39回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆☆

(敬称略)

最優秀賞

福島県知事賞



「ぼくの夢の家」
いわき市立勿来第一小学校
3年 高野 晃太郎



「立ち向かう心」
福島市立野田小学校
6年 桑折隼斗

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞

関東森林管理局長賞



「仲よしカメオヤコ」
いわき市立郷ヶ丘小学校
3年 折内 康太郎



「アースランプシェード」
いわき市立平第五小学校
5年 布田 杏菜



「むしがいっぱい！」
いわき市立勿来第一小学校
3年 八木 結南

いわき市長賞



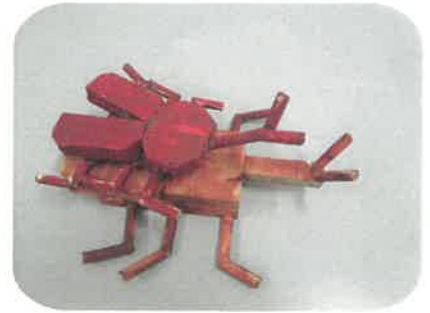
「 森のリズム 」
いわき市立勿来第一小学校
5年 高野 瞳子

福島民報社長賞



「白くて強いノギリクワガタ」
いわき市立平第六小学校
3年 鈴木 達也

(財) 県林業会館理事長賞



「 かぶとむしのおやこ 」
いわき市立小名浜西小学校
1年 後藤 類

福島県木連会長賞



「 海魚と川魚の遭遇 」
いわき市立小名浜第三小学校
6年 佐藤 琉凱

NHK福島放送局長賞



「 楽しい家族 」
いわき市立磐崎小学校
3年 勝 沼 遙 来

ラジオ福島社長賞



「 りっぱなお城 」
いわき市立平第一小学校
5年 沼田 駿

福島テレビ社長賞



「 夢の走り幅跳び 」
いわき市立小名浜西小学校
6年 飯塚 雄哉

福島県木材青壮年協会賞



「 もえるライオン 」
福島市立野田小学校
2年 桑折 和真



「 雲の上の竜 」
いわき市立長倉小学校
6年 松本 大門